

# 平成 26 年度 北上小学校区 第 2 回きずなづくりトークまとめ ～仮称：地域コミュニティ連絡会～

10月16日(木)に開催された「北上小学校区第2回きずなづくりトーク～仮称：地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。まとめができましたので、送付いたします。  
(市のホームページにも掲載)

問合せ 地域安全課 きずなづくり推進室 (電話 9 8 3 - 2 7 0 8)



ご参加ありがとうございました。

## 【当日参加団体一覧】

団体名		
芙蓉台自治会	体育振興会	北上中学校
萩町内会	民生委員・児童委員	芙蓉台子供会
徳倉第5自治会	消防団第4分団	北上地区地域包括支援センター
徳倉第6町内会	北上小学校	保護司
スポーツ推進委員	北上小学校PTA	

※当日参加者 24 名



会場アンケート：「テーマ別会議」「協議会設立」について、参加者の意向を伺いました。

## 【会場アンケート結果】

テーマ別会議	
①地域の危機管理体制のルールづくりを考えよう！	8人
②組単位で高齢者を見守る方法を考えよう！	6人
③大人もあいさつしあえる地域、子どもが安心して暮らせる地域にするにはどうしたらいいか考えよう	9人

※テーマ①&②と③の2グループに分かれ話し合いました。(別紙「テーマ別会議まとめ」参照)

協議会設立の意向	
①議会に向けた取組みを進めたい	10人
②連絡会を継続したい	12人
③その他	0人

テーマ①「地域としての危機管理体制のルールづくりについて考えよう！」

(テーマ①&②班：参加人数 14 人)

●テーマ②「組単位で高齢者を見守る方法」も含め広い意味で、地域の危機管理体制について意見を出し合いました。

地域の「危機」や「心配事」  
ってどんなこと？

台風、火事、地震、雪、  
泥棒、虐待、心肺停止  
など現象は多数



これら危機に備えるための  
危機管理体制に必要な事とは？

★日ごろのコミュニケーション

・お互いがお互いを気づかい合う関係づくり

★情報を把握すること

・各家庭に何人いるのか等の把握が必要。  
・住人だけでなく、地域外から働きにくる人  
(事業所)、学生なども含めた情報もあると  
よい。昼、夜の時間滞によって、人の動き  
が変わる。  
⇒住民ベースだけでなく、現実には添った  
ものが、いずれ必要になってくる。

★連絡網の強化

・各団体同士の連絡網を作る。

対策を講じていきたいが...

地域の現状は？

・住人の危機意識に温度差がある。

⇒地域間の温度差を無くしたい！

地域全体でスタートをそろえ、『自助』か  
ら取り組もう。

・名簿をまとめたいが、個人情報を出したくない人が  
いて困る。

・要支援者の情報。どこまで公開するか？⇒判断基  
準を作る必要があるのでは？

・要支援者を組単位でどのように支援するのか？

・きめ細かな情報がほしい。市のマニュアルには、災害  
発生時からの時間経過ごとの行動の記載がない。

・民生員、消防団など頑張っているが限界がある。

・ルールがないことで、遠慮してしまう人がいる。

・スタートは住民ベースでOK⇒時と場合に添ったシュミ  
レーションをどう広めるか？

・町内会長、役員の指導力が求められている。

アクション

『自助』を広める為に、  
どんな取り組みをしたらよいか？

・組全員参加の防災訓練(避難訓練)を年 2 回実施。

・防災訓練に大勢参加させる方法に取り組む。

・地域防災訓練への参加と呼びかけ。

アクション「最初の一步」温度差を埋める為に  
まずは何から始めよう？

★子ども会を足がかりに結びつきを強める

・子ども会の参加。子ども会に大人も参加  
・子どもが動けば親が動く。  
・子ども会を卒業しても交流がつながる。

★地域行事に参加する

・各行事参加への呼びかけ。

(祭り、運動会、河川清掃、自主防、体育振興会、老  
人会等の行事、スクールガードなど)

★各組での顔合わせ

・お茶飲み会を開催する

・近所とコミュニケーションを大切に/ あいさつから

★高齢者を外に出す運動

・高齢者の居場所作り

・11 月いも掘りハイキング実施

・各組での困り事、何でも相談会の開催

・お互いを知り合うことが、危機管理につながる。  
・「最初の一步」地域全体で共通認識(ルール)を  
持つ。地域全体が一つのキーワードでしっかり結  
ばれ、そこから色々なことに派生し、体制づくり  
につなげていく。

テーマ③「大人もあいさつしあえる地域、  
子どもや高齢者が安心して暮らせる地域にするにはどうしたらいいか考えよう！」

(テーマ③班：参加人数 9 人)

●地域の心配ごとやあいさつ、きずなを深める方法について皆で話し合いました。

<p>◎<b>地域の特徴</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路が狭い</li> <li>・朝、夕の交通量が多い</li> <li>・道がたくさんある</li> </ul> <p>★<b>通学路の心配</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが毎日違う道を下校するので、いざという時が不安</li> </ul>	<p>★<b>交通の心配</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故が多い</li> <li>・若年層の信号無視</li> <li>・制限速度違反</li> <li>・ちょっとした交通事故があっても知らない人だと対応が遅れる</li> </ul>	<p>★<b>犯罪に巻き込まれる心配</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路地に入ると暗いところが多い</li> <li>・子どもが1人遊びをしているのを見かける</li> <li>・子どもを狙う犯罪</li> <li>・地域の方かどうか知らない人が近所で散策(不審者)</li> </ul>
---	--	--

夜間、もう少し町内を明るくしてほしい

★**あいさつしない理由は？**

- ・遠慮している
- ・年をとると閉鎖的になる
- ・男同士はあいさつ難しい(女性は案外できている)

☆**あいさつできている場所**

- ・小中学生はしっかりあいさつしている
- ・小学校ではあいさつの啓発活動実施
- ・ゴミだしや出勤時(3丁目)
- ・都会に比べればあいさつできている

★**隣の人との交流がない**

- ・運動会に来るメンバーはほぼ一緒
- ・行事があっても組の人がひとりも来ない/閉鎖的
- ・地区の大人があいさつしない

■**あいさつが大事**

- ・あいさつは全ての基本
- ・学校の規律はあいさつから
- ・あいさつは相手の心を開く

■**あいさつできる地域にするには？**

- ・まず家庭から(基礎)
- ・遠慮しない
- ・ご近所のデータを持つ
- ・まず子ども/若者からあいさつを浸透

■**あいさつの極意**

- ・先手必勝/自分から声掛け
- ・積み重ねが大事(スクールガード 8 年かけて、あいさつが定着)
- ・長いスパンで考える
- ・子ども⇒その家族へと広げていく

■**地域の役割はどんなこと？**

- ・学校+家庭+地域で協力(家庭ができないことを学校、地域がフォロー)
- ・子どもにやっていいこと、悪いことを教える
- ・あいさつするよう、子どもをしかることも大事
- ・イベントに参加する
- ・お互いに顔を覚える
- ・若い人の「自分さえよければ/関わりたくない」という発想を変えてもらう(昔の地域のきずなが良かった頃のことを若い世代に教える)

若い人が住みたくなるような地域を作ることが大事!

市で組会を開催するような指示を出してほしい

■**組会が大事**

- ・組会ができる社会になれば、あいさつもできるよくなる

■**組会に皆が参加するには？**

- ・基本はあいさつ(あいさつがないと組会に参加しない)
- ・ただ集まるのではなく、協議するテーマを決める  
例:ゴミ集め、子どもの状況など